

配管カバー 工事説明書

77J010-2

型式名

HC-4530

HC-6030

表示について （表示の意味は次のようになっています。）

注意 作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の製品の不具合によって使用者等が、傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意 工事される方へのお願い

この配管カバーは、専用機器に使用してください。機器を安全に正しくご使用いただくために、この工事説明書をよくお読みになり正しく施工してください。

1 同梱部品の確認

梱包の中には下記部品が入っています。取り付け前に確認をしてください。

品番	品名	個数
①	上枠	1
②	側面板 右	1
③	側面板 左	1
④	下枠	1
⑤	壁固定	1
⑥	フロントカバー（化粧ネジ付）	1
⑦	ネジ（トラスM4×10）	8
⑧	丸木ネジ（φ4.8×38）	2
⑨	プラグ（S×6×30）	2

2 設置前の注意

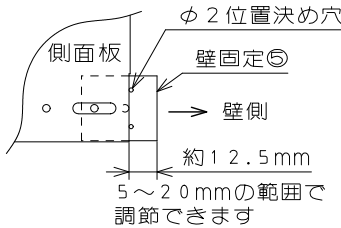
機器本体の配管工事が終了した後に、この配管カバーを取り付けてください。

3 取付方法

- 上枠①を側面板右②、側面板左③の上部段付け部に差し込んで、ネジ⑦で固定してください。（図4参照）
- 下枠④を側面板右②、側面板左③の下部段付け部に差し込んで、ネジ⑦で固定してください。（図4参照）
- 壁固定⑤は、後で壁とのすき間を調節するため、側面板右②、側面板左③の下部長穴に、ネジ⑦にて仮止めしてください。（図4参照）

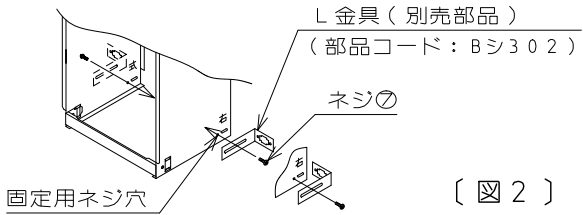
<参考>

- 図1の様にφ2位置決め穴を側面板の端に合わせて固定すると、壁との位置が約12.5mmに決まります。（壁に凹凸のある場合はスライド調節してください。）



〔図1〕

- 壁からの配管の突き出し等により、壁固定⑤の取り付けができない現場では、別売部品のL金具（部品コード：Bシ302）を図2の方法で壁へ固定してください。外側に障害物がある場合はL金具を逆向きに取り付けます。壁への固定用ネジは配管カバー付属品を使用。



〔図2〕

- 機器本体側面下部のネジ（2本）をはずし、1）～3）の手順で組み立てた配管カバーを機器本体に仮止めしてください。（ネジ⑦2本および機器本体側面下部からはずしたネジ2本）（図4参照）
- 壁固定⑤を調節し、プラグ打ち込み位置を決めてください。位置を決めたら、3）で壁固定⑤を仮止めしているネジ⑦（2本）を増し締めして固定します。
- 配管カバーを機器本体から一旦はずし、壁面にドリルで穴をあけて（下穴φ6、深さ40）、プラグ⑨を打ち込みます。
 - はずしたネジ（4本）はもう一度使いますので、紛失しないように注意してください。
- 配管カバーを機器本体に合わせ、前面はネジ⑦2本および機器本体付属品の平ワッシャー（大）で、側面は機器本体側面からはずしたネジ2本で固定します。6）で打ち込んだプラグ⑨に丸木ネジ（φ4.8×38）⑧を2本締めつけ固定します。

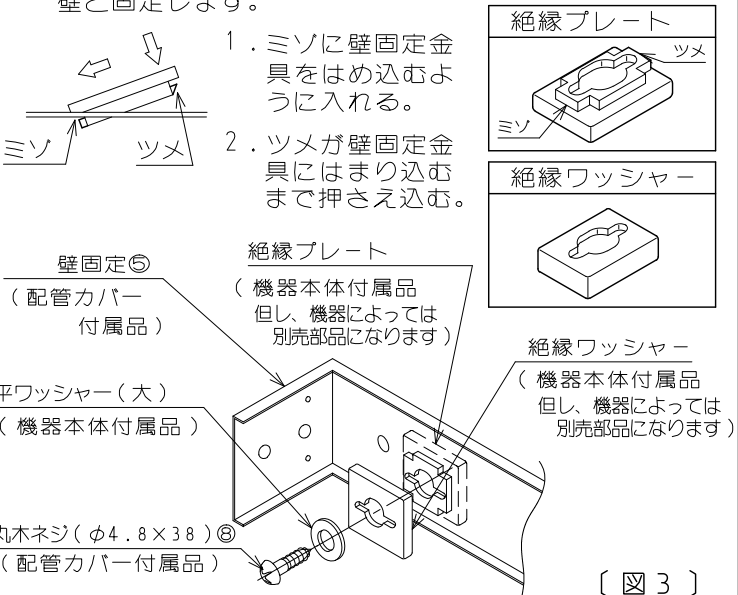
■絶縁が必要な場合

「電気設備に関する技術基準を定める省令」および「電気設備の技術基準の解釈」に従って工事を行ってください。メタルラス張り、ワイヤラス張り等の木造の造営物に電気器具を取り付ける場合、機器と造営物とは、電氣的に接続しないように施設しなければなりません。（電気設備技術基準第167条第3項）絶縁ワッシャーおよび絶縁プレートを用意し、以下の要領で壁固定⑤に取り付けてください。

- ※機器によって、絶縁ワッシャーおよび絶縁プレートは別売部品になります。（部品コード：T4404）

絶縁部品の組立要領（図3）

- 壁固定⑤に後面より絶縁プレートをはめ込みます。
- 絶縁ワッシャーをかぶせて、機器本体付属品の平ワッシャー（大）および丸木ネジ（φ4.8×38）⑧にて壁と固定します。

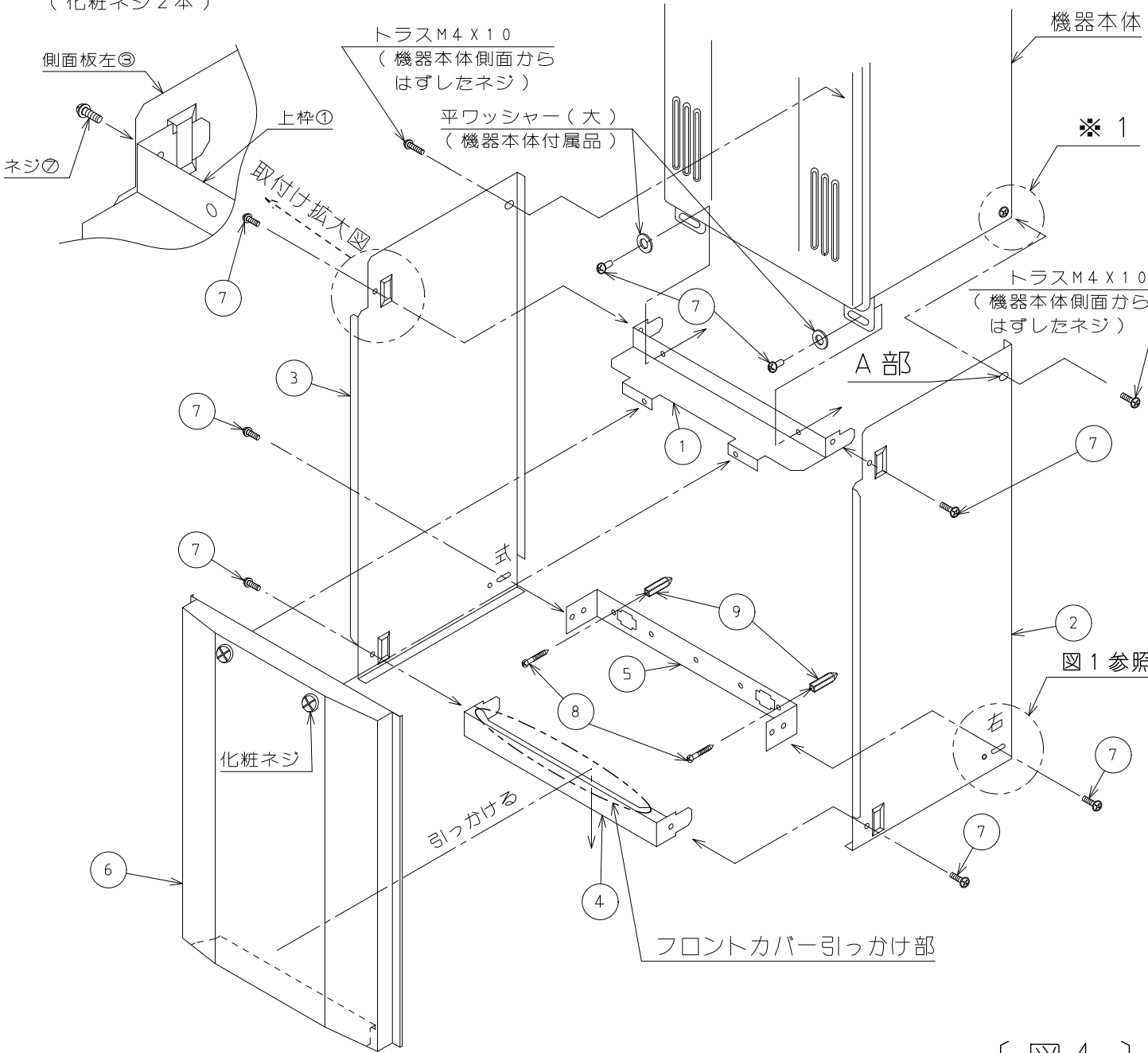


〔図3〕

配管カバー組立要領（図4）

- ※1 機器本体側面下部のネジを一旦はずし、側面板のA部のφ6×10長穴に通して、はずしたネジを締めつけてください。

- フロントカバー⑥を配管カバー本体に取り付けてください。（化粧ネジ2本）



〔図4〕

注意 安全上の注意

- 配管カバーのフロントカバーをしっかりと閉め、ガたつきの無いことを確認してください。フロントカバー引っ掛け部がはずれていないことを確認した上で、化粧ネジを工具、コイン等を使用してしっかりと締めつけてください。

製造元

パーパス株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201